

報道関係 各位

圧送管破損による下水道の漏水について

昨日（8月12日）14時頃、当市の岡見第一汚水ポンプ場から南に約120m離れた柏田町地内の水田付近で、圧送管の破損が原因と見られる下水道の漏水が判明いたしました。現在鋭意対応中で、復旧は本日深夜以降になる予定です。付近にお住まいの方をはじめ、市民の皆さまにはご迷惑をおかけすることになり、お詫び申し上げます。

なお、下水道の使用に支障はありません。

記

- 1 漏水現場** 牛久市柏田町 1845-1, 1846-1 水田に隣接する圧送管設置箇所
※圧送管設置箇所について
現場は、岡見第一汚水ポンプ場から南側に約120mの場所にあり、同ポンプ場から圧送された下水を地下から地表付近に送るため、铸铁製の圧送管を接続している箇所で、コンクリートに覆われている制水弁室の内部です。
- 2 漏水の状況** 制水弁室内から溢れ出た下水が、隣接する水田に流出しており、現在も続いている。
- 3 漏水の原因** 铸铁管の接続部（フランジ）から噴出しており、ボルトの欠損が原因と推定される。
- 4 対応の状況** 判明後直ちに職員、事業者等により現地調査するも、制水弁室内が溢水により確認できないため、現場付近の衛生管理のため、18時頃に塩素消毒剤を設置。流入量が減少する夜間を待って12日21時20分頃、TVカメラにより室内を確認し、原因を特定。
21時30分頃から汚泥吸引車（4トン車）1台を使用して、24時間体制で圧送管の吐出先にピストン排水。（現在は作業開始に伴い中断中）
本日8時30分から室内の硫化水素濃度を低下させるため、躯体上部の撤去作業を行い、換気を実施。
その後、作業員により、損傷箇所を確認し、14時から応急復旧作業を開始。
- 5 復旧見込み** 作業終了は、本日深夜以降になる見込み。
- 6 損傷箇所の経過等**
損傷箇所は、1996年7月に設置され、設置後約30年が経過しているが、管材である铸铁管Φ600曲線フランジ部の耐用年数は50年であり年数に達していない。
詳細原因は今後調査。なお、2024年7月に市職員3名による制水弁室内を目視により点検調査したが異常は見られなかった。

【経過】

8/12(火)

- 14:00 ポンプ場の施設管理者よりポンプの圧力低下と漏水の第一報の連絡
- 14:00～ 職員が現地にてコンクリート躯体上部マンホールからの汚水の溢水を確認
- 15:30～ 関係機関へ連絡
- 17:00～ 市職員、建設業者、ポンプ場の施設管理者による現地調査
- 18:00～ 現場付近の衛生管理のため、塩素消毒剤を設置
- 20:00～ 清掃業者による現地調査
- 21:20～ 一時的にポンプ場の稼働を停止し、制水弁室内の汚泥をポンプ排水。送風機で内部の換気を試みるも硫化水素濃度の低下がみられないため、TVカメラを用いて漏水箇所を上部管接手部と特定
- 21:30～ 汚泥吸引車（4トン車）1台を使用して圧送管の吐出先にピストン排水を実施

8/13(水)

- 8:30～ 躯体上部の一部撤去作業開始.
- 11:00 躯体上部の一部撤去作業完了. 硫化水素濃度確認し室内は基準値以下.
- 12:00～ 破損箇所の近接確認.
- 14:00～ 応急復旧作業開始.

(参考) 岡見第一汚水ポンプ場について

- ・ 1996(H8).7 運転開始、運転開始後約 30 年経過
- ・ 処理面積 415.46ha、処理人口 22,199 人、処理戸数 9,359 戸、計画処理能力 9,936m³/日、処理行政区（ひたち野、下根が丘、上池台、第 8 岡見、上柏田、むつみ、竹の台、松ヶ丘、猪子、一厚東、一厚西行政区）

お問い合わせ

○下水道事業に関すること
牛久市建設部下水道課
担当：田仲（内線 2540）

○発信元
〒300-1292 牛久市中央 3-15-1
牛久市市長公室広報広聴課
☎029-873-2111（内線 3221・3222）
Email kouhou@city.ushiku.ibaraki.jp